

# K T F

～輝く・つながる・ふみ出すためのQ&A! VOL.2～

黒石原支援学校教育支援部

～教えてくれる登場人物の由来～

「KTF」とは、「輝く・つながる・ふみ出す」のアルファベットの頭文字です。教えてくれる登場人物の由来は、きらりT→きらりと「輝く」、がっちりT→がっちり「つながる」、しっかりT→しっかり「ふみ出す」ですよ(^^)/

## 第2回「自立活動」について

文責：専門家活用研修担当



きらりT

Q、自立活動の指導の充実に向けた教師の協力体制や外部専門家との連携に関する根拠はどこにあるの？

A、特別支援学校小・中学部学習指導要領第7章第3の5と6に「自立活動の指導は、専門的な知識や技能を有する教師を中心として、全教師の協力の下に効果的に行われるようにするものとする」「児童又は生徒の障害の状態等により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるとして、適切な指導ができるようにするものとする」（高等部学習指導要領にも同様が記載）と示されています。また、解説では「自立活動の個別の指導計画の作成や実際の指導にあたっては～（中略）～各分野の専門家との連携協力をして、必要に応じて、指導・助言を求めたり、連絡を密にししたりすること」とも示してあります。



がっちりT



しっかりT

そこで、今年度も、支援部では「専門家活用研修」の企画・運営をしています。姿勢や歩行、コミュニケーション、認知面等の分野の専門家と組織的に連携・協働し、専門的な知識や技能、個別の指導計画の作成や評価について指導や助言を受け、成果を上げるようにしています。また、解説に示してある「自立活動の指導は教師が責任をもって計画し実施するものであり、外部の専門家の指導にゆだねてしまうことのないようにすること」にも留意しながら取り組みを進めています。



Q、今年度の専門家活用研修の講師はどんな方？

A、3名の方々にお世話になっています。濱本CP（臨床心理士）からは、心理面へのアプローチの仕方等のアドバイスを受け、心身の安定を図る指導に生かしています。本村ST（言語聴覚士）からは、摂食嚥下を中心としたスキル等を教わり、食事指導の充実に努めています。藤本PT（理学療法士）からは、移動や動作変換等に関する効果的な手立てを教示してもらい、学習の基盤作りの指導に生かしています。専門家から得られた知見は、地域の小・中学校等への支援にも生かすことで、センター的機能の充実に努めることにも繋がります。☆熊本県北部発達障がい者支援センター「わっふる」相談員からは、学習支援・生活支援全般における適切な支援の在り方について、ケース会議において指導・助言を受けています。



先生方のご紹介です。



濱本晋也CPです



本村富士子STです



藤本茂雄PTです



木佐貫菜々相談員です